



令和7年2月号 北条こども園

☆2月の目標 ☆
・冬の自然に触れて遊び、興味や関心を広げる。
・いろいろな素材を使い、自分なりにつくったりかいたりして表現することを楽しむ。

♪家庭教育12か条♪
2月は
子どもの遊びは自然の中で

1月中旬に雪が積もり、雪遊びを楽しんだ子どもたち。「また雪遊びしたいなあ」と空を見上げ、チラチラすると「積もるかなあ」と期待しながら外を見ている姿があります。今月は、郵便ごっこや凧揚げ、カルタや福笑い等、伝承遊びを楽しみました。保育教諭や友達と一緒に遊ぶことの楽しさを感じながら、文字を書いたり、思いを伝えるやりとりをしたり、手作り凧を持って戸外を走ったりしました。

寒い冬も体を動かす遊びを取り入れながら、保育教諭や友達と一緒に、体も心もぽかぽかした活動となるようにしていきたいと思います。

○「友達が好き・先生が好き・思いを伝え合いながら一緒に遊ぶことを喜ぶ子を目指して」
～身近な人に親しみをもちながら、関わりや伝え合いを楽しむための環境と援助の工夫～

今年度もあとふた月となりました。新しい年になり、一つの節目を迎えました。そしてまた進級、入学といった節目を迎える子ども達です。今年度「人との関わり…人間関係」の領域で研究を進めました。自分らしさを発揮して、自分も大事な存在であること、また友達と一緒に過ごす中で、友達も他者も大事な存在であること、そんな気持ちの芽生えを支えて来ました。大切にしてきたポイントをお知らせします。【0～2歳児編】



(言葉にならない思いを受け止める)発見、驚き、一緒に共感してくれて、どんな思いも受け止めてくれる存在があることで、思いをどんどん表出します。(1歳児)



(愛情をこめて関わる)大人の仕草を見て、人形を可愛がる素振り。自分もそうしてもらった、そんな人との温かい関わりが始まりが感じられます。(0歳児)



(保育教諭や友達とのふれあい)大好きな先生のそばと一緒に遊びます。「先生みて」「先生やって」と、安心を土台に関わりが生まれます。(1歳児)



(友達の存在・他者への興味)段々「友達と一緒に」、を喜ぶようになります。友達の存在を知り、良さに気づいていけるように支えていきます。(2歳児)



(友達・ごっこ遊びの環境)遊びの中で、おもちゃの取り合い、なんてこともたくさんありますが、先生の仲立ちに支えられながらも、一緒に遊んで楽しかった、という経験を積み重ねていくことを大切にしています。(2歳児)

みんなの笑顔生まれる瞬間を大切に！！

2月には、玄関前廊下に全学年の研究の成果を掲示していきます。
子ども達の成長している様子をご覧いただけたらと思います。

2月 行事予定						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5 おにぎり	6 絵本 オープンデー (未就園児)	7 家読 5・5 交流、北条小 体験入学(5)	8
9	10	11 建国記念日	12 おにぎり	13 絵本 避難訓練	14 布団	15
16	17 身体測定(5)	18 身体測定(4)	19 おにぎり 身体測定(3)	20 絵本 身体測定(2)	21 家読 身体測定(0.1)	22
23 天皇 誕生日	24 振替休日	25	26 おにぎり 誕生会(3～5)	27 絵本返却 誕生会(0～2) ピカピカデー	28 布団	

※毎日持帰り 歯ブラシ・コップ(3～5歳児)
※毎週水曜日 おにぎり弁当(3～5歳児)
※毎週木曜日 絵本貸出し日
※隔週金曜日 布団持ちかえり(隔週持ちかえり)
※月末最終日 カラー帽子、外靴、上靴持ち帰り
※第1,3金曜日:家読デー(3～5歳児)

【3月の主な予定】
6日(木)参観日・PTA総会(予定)
13日(木)お別れ会 21日(金)卒園式(5歳児)
24日(月)修了式(0～4歳児)
※卒園、修了式以降は、預かり保育となります。

【お知らせとお願い】
○絵本の返却について
・貸し出し絵本、家読絵本の返却は 2/27(木)となります。3月は、絵本の整理をします
ので、貸し出しは行いません。ご協力をよろしくお願いします。

☑歯磨きの仕方を教えてもらいました☑
3～5歳児が歯磨き指導を受けました。3,4歳児は染め出しを、5歳児はフロスと染め出しを行いました。手鏡を覗きながら、ピンク色に染まった自分の歯に興味津々に見ている子ども達。歯ブラシの当て方や動かし方を教わりながら磨いていくと、「ピンクがとれた」と白い歯になっていくことを実感している様子が見られました。参観してくださった保護者さんは、我が子の歯のどの部分が磨けていないかを確認することができ、仕上げ磨きの大切さを改めて感じてくださっていました。幼児期は仕上げ磨きをして、健康な永久歯に生え変わるようにしていきましょう。

おすすめ絵本コーナー(2月)
『きょうはなんのひ?』 <作:瀬田貞二 絵:林明子>
お父さんとお母さんと娘のゆったり温かな一日のお話し。
読み終わると、子どもの気持ちを受け止めること、そして、それを受け入れる余裕を持つことの大切さを再確認することができます。パタパタと毎日を送っている私にほんのひととき“ゆったりしたら”と語りかけてくれるかのようでした。絵本のへやにありますので、読んでみてください。
<保育教諭 山本 由紀美>